



Come true dream

第2次平戸 総合計画

ついに始動!

平戸市未来創造羅針盤

この計画は、今後10年間(2018年度～2027年度)の平戸市のまちづくりの指針となるものです。激しく移り変わる社会変化に対して的確に対応し、市民一人一人の夢が叶うようまちづくりの実現のために、さまざまな施策にチャレンジしていきます。

平戸市が描く未来像「夢あふれる 未来のまち 平戸」

【夢あふれる】

平戸市がもつ「歴史」「恵み」「祈り」をさらに輝かせることでシビックプライド(※)につなげ、全ての市民の皆さんのさまざまな思いを叶えることができる「夢のようなまち」になるよう願いを込めました。

【未来のまち】

他のどこの地域にもない「平戸らしさ」を磨き上げ、全ての市民の皆さんが明るく元気に活躍する未来を描いていけるように、という願いを込めました。

※シビックプライド・・・個々人がまちに抱く誇りや愛着のこと

みんなでやるばいプロジェクト

計画に掲げた未来像を実現するために、次の「みんなでやるばいプロジェクト」による取り組みを行っていきます。

共通プロジェクト

きずなをつなぐプロジェクト【協働、地域コミュニティ、シビックプライド】

市民と行政の協働によるまちづくりとずっと住み続けたい平戸市の創出

基本プロジェクト1

しごとをひろげるプロジェクト

【産業、雇用】

地域の特色を活かした産業振興による経済の活性化

基本プロジェクト2

ひとをそだてるプロジェクト

【子育て、教育】

子どもを安心して産み育て生涯を通して学べる環境の充実

基本プロジェクト3

くらしをまもるプロジェクト

【保健、医療、福祉】

生きがいを感じ安心していきいきと暮らせる地域の形成

基本プロジェクト4

まちをつくるプロジェクト

【定住・移住、自然環境、生活基盤】

まちの活気をつくる定住・移住の促進と安心できる生活空間の確保

基本プロジェクト5

たからをみせるプロジェクト

【観光、文化、シティプロモーション(※)】

観光平戸の再生とシティプロモーションによる交流人口の拡大

基本プロジェクト6

ちからをつけるプロジェクト

【行財政運営】

効果的・戦略的な行政経営の推進

※シティプロモーション・・・地域の魅力を高め、市のイメージを向上させる活動のこと

総合計画とは

総合計画は、市政を総合的・計画的に運営するための指針となるもので、平戸市のさまざまな計画の中でも最上位の計画です。

10年を目途に新たな計画を策定することとしており、平成17年の「新平戸市」誕生後、今回が2回目の策定となります。

「平戸市未来創造羅針盤(第2次平戸市総合計画)」の名前の由来

平戸市は周囲を海に囲まれており、海を通じた自然の恵みや伝来によって栄えてきた歴史があります。海は、今後の平戸市のまちづくりにおいても欠くことがないつながりがあります。

また、これからは平戸市が進んでいく未来の羅針盤となるような計画にしたい、との思いから、第2次平戸市総合計画の名称を「平戸市未来創造羅針盤」と名付けました。

策定までのプロセス

総合計画策定にあたり、21人の委員からなる「平戸市総合計画審議会」に対して平成28年9月に市長が諮問を行い、約1年半にわたり基本構想や基本計画の内容について協議・審議を重ねました。

また、基本構想の策定にあたっては、素案を作成するため審議会委員のうち6人で構成する「基本構想起草委員会」を編成しました。委員会では、平戸市を取り巻く現状や課題について市民と行政が共有し、市民一人一人がまちづくりに取り組む必要性を主眼に置きながら、集中的に協議を行いました。

併せて、市民アンケートや、市内7地区でワールドカフェ(ワークショップ)、計画に対するパブリックコメント(意見募集)を実施するとともに、市政懇談会や地域協議会・地域審議会などで説明・協議を行うなど、市民の皆さんの意見が計画に反映できるよう意見交換を行ってきました。

重点プロジェクト 「シン・平戸創生プロジェクト」



平戸市が今後10年勝ち残っていくためには、「選択と集中」による大胆な施策展開が必要となってきます。歴史や文化、自然など平戸市の資源を生かしながら、あらゆる「シン」の取り組みを行なわなければなりません。

このため、特に重点的な施策を「シン・平戸創生プロジェクト」として位置づけ、夢と希望、そして覚悟を持って取り組んでいきます。

※「シン」・・・「伸」「進」「新」など、未来を切り拓く言葉として位置づけました。

未来を担う人材創出プロジェクト 【シン(伸)平戸】

人口減少が進む中における産業人材確保のため、大学や専門学校などの高等教育機関の誘致とともに、未来の平戸市を担う産業人材の育成を強化し、地域産業が活気にあふれ持続的に発展していくための取り組みを進めます。

- ①高等教育機関の誘致活動や、市内高等学校の学生確保対策などによる「**産業人材の確保**」
- ②新規就農者育成体制の構築、漁業後継者の経営独立などへの支援による「**産業人材の育成**」

もうける農林水産プロジェクト 【シン(進)平戸】

農林業において、農業の法人化や協業化の推進とともに、ICTなどの情報通信技術を活用した省力化を推進します。また、水産業においても、資源管理型漁業の推進や戦略的流通販売体制の構築に取り組みます。

- ①農業の法人化や協業化の推進などによる「**もうける農林業プロジェクト**」
- ②資源管理型漁業の推進と流通販売方法の改善などによる「**もうける水産業プロジェクト**」

平戸観光地力向上プロジェクト 【シン(新)平戸】

これまで国内外からの観光客を迎えてきた平戸市において、観光業は重要な基幹産業の一つであり、観光業の浮揚は今後の平戸市の発展に欠かせないことから、多くの観光客でにぎわうまちを目指した取り組みを行います。

- ①広域観光の推進などの「**世界遺産登録を契機とした取り組み**」
- ②再築城300周年を迎える「**平戸城のリニューアルと活用推進**」
- ③観光マーケティング強化などの「**平戸版DMO(※)による魅力ある観光地づくり**」

※DMO・・・経営視点を持ち、魅力ある観光地づくりを推進していく組織のこと。

「平戸市未来創造羅針盤」の特集に寄せて

今回、全国的にも有数の知名度を誇り魅力を秘めた平戸市の総合計画の策定にかかわることができたことは、私にとって大変光栄な出来事でした。

人生「100年時代」といわれる今日、“人はどう生きるべきか”、その意味や価値の模索が続いています。「まち」もまた、“どう創りあげ、どこに向かうのか”が問

われている現代にあって、審議会メンバーは、平戸市民を壮大な物語の主演として、皆さんの深い思いや考えをていねいに織り込んだ総合計画を策定したいとする意図のもとに作業を行ったつもりです。

“夢あふれる未来のまち”、それは、平戸市のとても大切な個性であり価値だと思います。



平戸市総合計画審議会長
長崎県立大学 教授
むらかみのりお
村上 則夫さん

地域づくりプロジェクト

平戸北部地区



豊かな資源を活かした光輝く交流のまちづくり

— 歴史・文化・自然の宝庫 平戸北部 —

平戸中部地区



「歴史」「恵み」「祈り」のまちづくり

— 平戸の魅力が凝縮された未来あふれるまち 平戸中部 —

生月地区



未来へつなごう!人情味あふれるまちづくり

— つんで やろかい ワクワク 生月 —

大島地区



島に希望を見い出すまちづくり

— 未来への風が吹く宝島 約山大島 —

独自性を生かした地域づくり

平戸市内にはそれぞれの特色を持った7つの地域があります。

各地域の独自性や優位性を活かし、10年後も元気で生き生きとした地域であり続けるために「地域づくりプロジェクト」を掲げ、市民と行政が一体となって取り組みを進めています。

平戸南部地区



奥平戸から新たな風をつくり出すまちづくり

— 豊かな自然や恵みと共にひとが輝く 平戸南部 —

田平地区



活かせ!!海・山・歴史。いっちょやるばい田平おこし

— 住み続けたいふるさと 田平 —

度島地区



「行こう!憩こう!度島」のまちづくり

— 自然・人情豊かな 伝統の郷(さと) 度島 —